騒音ばく露計 NB-14

取扱説明書

ハードウェア編

NB-14 取扱説明書の構成

騒音ばく露計NB-14の取扱説明書は下記の4部で構成されています。

導入編

騒音ばく露計NB-14の基本的な取り扱い方法を記載しています。

ハードウェア編（本書）

騒音ばく露計NB-14の詳細な取り扱い方法に関する説明書です。

ソフトウェア編

騒音ばく露データ管理ソフトウェアAS-05 Viewerの取り扱いに関する説明書です。

技術解説編

騒音ばく露計の性能、マイクロホンの構造と特性や専用ウインドスクリーンの測定値への影響など、騒音ばく露計と騒音ばく露量測定に関する技術的な説明書です。

騒音に関する労働安全衛生対策Webより取扱説明書がダウンロードできます。

https://osh.rion.co.jp/nb-14/qrcode-manual

安全上／使用上のご注意

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2 つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。

絵表示の例

図の中に具体的な禁止内容が表記されることがあります。

	禁止内容		指示内容

表示	表示の意味
⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。
重要	この表示の注意事項を守らないと、本器が故障する可能性があります。
ノート	安全には直接影響しませんが、本器の機能を正しく活用するためのアドバイスを記載しています。

■ 充電池の取り扱いについて

⚠警告

電池から漏れた液が目に入った場合は、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受ける。
失明のおそれがあります。

電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水で洗い流す。

■ 製品の取り扱いについて

⚠警告


分解禁止

絶対に分解したり修理・改造したりしない。
火災、感電、事故の原因になります。


ぬれ手禁止

濡れた手で専用 USB ケーブルに接続したり、本体を取り外したりしない。
感電やけがの原因になります。


水濡れ禁止

本体を水に浸したり、水をかけたりしない。
マイクロホン部は防水ではありませんので、感電や故障の原因になります。

本来の目的以外の用途に使用しない。

火気やストーブなどの熱器具に近づけない。
火災・感電・故障の原因になります。

破損など異常が見られるときは使用しない。
使い続けると、感電や発火の原因になります。販売店または修理・再校正のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

異常に熱くなるなど、本体に異常がある場合は使用しない。
故障、火災の原因になります。

浴室など湿気の多い場所や水のかかる場所での使用や、充電をしない。
感電や故障の原因になります。

火気・直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温の場所での使用・保管・放置をしない。
発火・電池の破裂・発熱の原因になります。

廃棄時は火中に投じない。
火災やバッテリが爆発するおそれがあります。廃棄するときには、国または地方自治体の条例に従ってください。

充電端子部にゴミなどが付着している場合は、よく拭き取ってから専用USBケーブルに接続する。
感電・ショート・発火のおそれがあります。

充電は本体や充電端子の水気を拭き取ってからおこなう。
感電・ショート・発火のおそれがあります。

⚠注意

お子さまやペットの手の届く所で使用・保管をしない。
感電・けが・誤飲のおそれがあります。

本器をポケットに入れたまま、こたつなどに入らない。
リチウムイオン充電池が発熱し低温やけどをする可能性があります。

専用USBケーブルのLEDが点滅した場合にはすぐに充電を中止する。
販売店または修理・再校正のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

ワニクリップで手や皮膚を挟まないように注意する。

専用USBケーブルは水平な場所に設置する。
フックに引っかけるなど、吊られた状態で使用すると断線するおそれがあります。

使用上のご注意

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 本器をポケットなどに入れたまま座らないでください。無理な力が掛かり、故障の原因となります。
- 本器の穴や隙間から針金、金属片、導電性のプラスチックなどを入れないでください。故障の原因となります。
- マイクロホンを銘板に記載された製造番号以外のものと取り替えないでください。
- 屋外で使用中、雨が降ってきた場合は、測定を中断し、本器が濡れないようにしてください。万一、水に濡れた場合は、乾いた布で水分を拭き取り、風通しの良い場所で乾燥させてください。
- 音響校正時にマイクロホンに緩みのないことを確認してください。緩みがある場合は電源をオフにして締めなおしてください。
- 測定精度維持のため、定期的に点検を受けてください。
- 点検の際、NB-14内部に保存されている測定・校正データが削除される場合があります。点検依頼前に、測定・校正データのバックアップを保存してください。

＜接続コンピュータのUSBドライバについて＞

- 接続するコンピュータに、特定のUSBドライバ（Red Hat社製 USBDK.sysなど）がインストールされ、そのドライバ上でUSBデバイスの隠ぺい設定が適用されている場合、本器を接続してもUSBドライブが表示されない場合があります。その場合は特定のドライバをアンインストールするか、隠ぺい設定を変更してください。

＜内蔵バッテリについて＞

- 長時間使わない場合は、フル充電にならない状態で専用USBケーブルを取り外し冷暗所で保管してください。
- 過放電防止のため、本器を定期的（2-3か月ごと）に充電してください。
- 電池寿命（NB-14がバッテリで動作する時間）は、温度、バッテリの使用履歴、バッテリ保管状況などにより異なります。
- バッテリは消耗品です。充放電を繰り返すことで、バッテリの容量が小さくなり、電池寿命が短くなります。動作時間が短くなった場合には、販売店または修理・再校正のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
- 内蔵バッテリを使い切った状態で本器を放置すると、時刻情報が初期化される場合があります。
  内蔵バッテリを使いきった場合は、早めに充電を行ってください。
- 本器は指定充電方法以外にて充電しないでください。

＜免責について＞

- 以下の損害に関して、当社は一切責任を負いません。
  地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為その他の事故、お客さまの故意または過失誤用、その他異常な条件での使用により生じた損害
- 本器の使用または使用不能から生じる、以下のような付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。
  記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

＜お手入れについて＞

- 柔らかい布で乾拭きしてください。汚れが落ちにくい場合は薄めた中性洗剤を使用してください。
- お手入れにアルコールやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
  本体がひび割れするなど、変質するおそれがあります。

＜廃棄するときのお願い＞

- この製品はリチウムイオン充電池を使用しています。
  本器を廃棄するときには、国または地方自治体の条例に従ってください。

もくじ

NB-14 取扱説明書の構成 1

安全上／使用上のご注意 2

安全上のご注意 …… 2

使用上のご注意 …… 4

1　本製品の概要 6

2　各部の名称 7

3　充電方法 9

4　測定方法 10

5　校正方法 14

6　仕様 18

1 本製品の概要

本製品は、騒音職場で働く労働者の騒音ばく露量を測定する機器です。
個人騒音ばく露計の国際規格IEC 61252:1993+AMD1:2000+AMD2:2017に適合しているほか、騒音計の国際規格IEC 61672-1:2013 class 2および騒音計の国内規格JIS C 1509-1:2017 クラス2にも適合しており、簡単かつ正確に個人騒音ばく露量の測定を行うことができます。
また、騒音障害防止のためのガイドライン（厚生労働省策定）に基づいた個人騒音ばく露量の測定ができます。

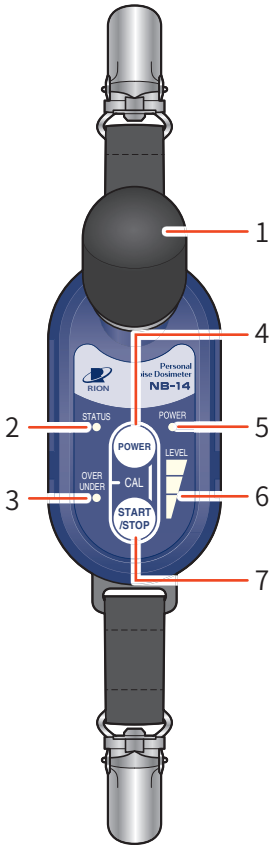
専用の管理ソフトウェアAS-05 Viewerを用いて、データの閲覧やエクスポートを行うことができます。

また、内蔵の加速度センサにより、騒音ばく露量の測定と同時に本器に加わった物理的衝撃の検出ができます。
測定値が騒音なのか、騒音以外の物理的衝撃などによるものなのかを判別できるので、信頼性の高い測定を実現します。

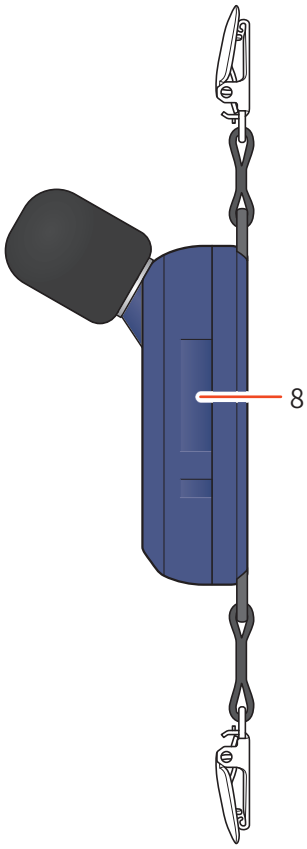
さらに、リチウムイオン充電池を内蔵し、三交代勤務（8時間）や二交代勤務（12時間）の労働者の長時間使用にも対応しています。

2 各部の名称

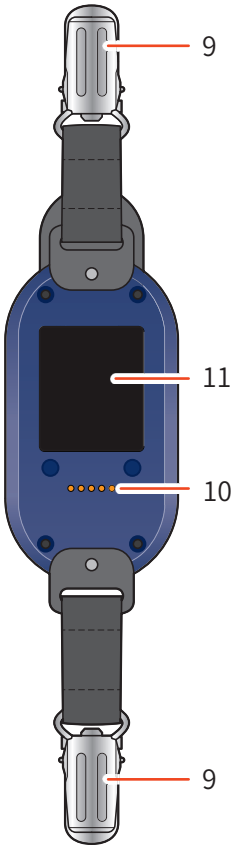
本体正面



本体側面



本体背面



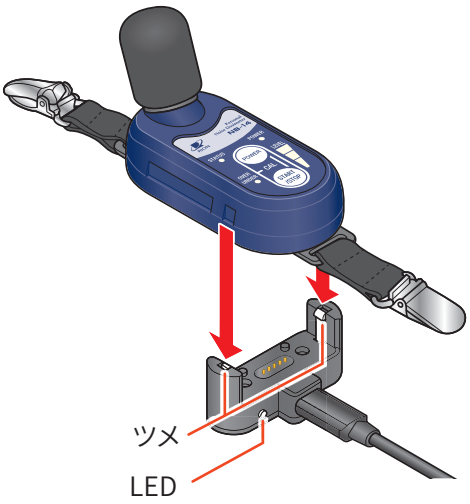
番号	名称／内容
1	**専用ウインドスクリーン／マイクロホン**
2	**STATUS LED** 電源がオンのときに点灯します。 緑色点灯：ストレージ容量が設定されているストア時間分（初期値：8時間）の容量以上空いている状態 赤色点灯：ストレージ容量が設定されているストア時間分（初期値：8時間）の容量より少ない状態 青色点灯：校正中 オレンジ色点滅：測定中 赤色点滅：測定中（OVER履歴あり）
3	**OVER/UNDER LED** A特性時間平均サウンドレベルに対しての表示 赤色点灯：測定レベルが測定レベル範囲の上限（143 dB）より大きい（OVER） 緑色点灯：測定レベルが測定レベル範囲の下限（58 dB）より小さい（UNDER）
4	**POWERキー** 押すと電源がオンになります。 電源がオンのときに長押しすると電源がオフになります。

<table>
<tr><th>番号</th><th>名称／内容</th></tr>
<tr><td>5</td><td>POWER LED
電源がオンのときに点灯します。<table>
<tr><td>緑色点灯</td><td>バッテリ容量が8時間以上</td></tr>
<tr><td>オレンジ色点灯</td><td>バッテリ容量が8時間以下</td></tr>
<tr><td>赤色点灯</td><td>バッテリ容量が4時間以下</td></tr>
<tr><td>赤色点滅</td><td>バッテリ容量の不足。測定は停止します</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>6</td><td>LEVEL LED
騒音ばく露レベルの許容限度に対する割合DOSE(%)をバーグラフで表示します。
初期値は以下に設定されています。<table>
<tr><td>無点灯</td><td>50%未満</td></tr>
<tr><td>緑1つ点灯</td><td>50%以上～100%未満</td></tr>
<tr><td>オレンジ2つ点灯</td><td>100%以上～200%未満</td></tr>
<tr><td>赤3つ点灯</td><td>200%以上～400%未満</td></tr>
<tr><td>赤3つ点滅</td><td>400%以上</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>7</td><td>START/STOPキー
長押しすると測定を開始します。測定中に長押しすると測定を終了します。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>ラベルプリンタ用シール貼付スペース
（本体両側面）
幅6 mm ×長さ25 mmまでのラベルプリンタ用シールなどを貼付することができます。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>ワニクリップ
作業服などに挟んで本器を固定します。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>充電/USB通信端子
専用USBケーブルを使用して充電器やコンピュータなどと接続する端子です。</td></tr>
<tr><td>11</td><td>銘板
本器の型式・製造年月・適合規格などの必要事項が記載されています。</td></tr>
</table>

番号	名称／内容
4＋7	**校正** POWERキーとSTART/STOPキーを同時に長押しすると校正モードになります。 再度、POWERキーとSTART/STOPキーを長押しすると校正を実行します。校正は自動で終了します。 校正を中止したい場合は、POWERキーを長押しします。

3 充電方法

初めてお使いになるときは、使用前にフル充電にしてください。



1 本器を専用USBケーブルに接続します。

本器をツメに引っかけるように接続します。

2 専用USBケーブルのUSB Type-Aコネクタを充電器などに接続します。

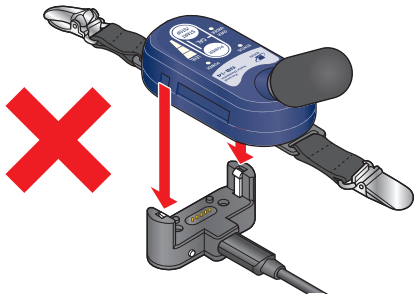
充電中は専用USBケーブルのLEDが青色に点灯します。

LEDが消灯したら、充電完了です。

- フル充電で約12時間（以上）使用できます。
- バッテリ容量がゼロの状態からフル充電となるまで約6時間かかります。

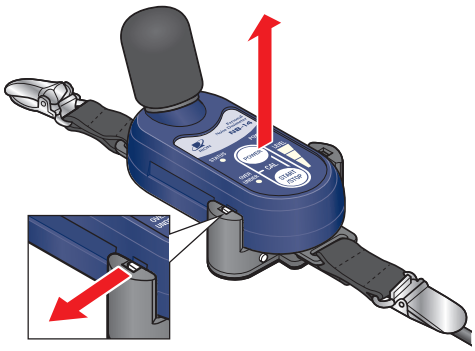
⚠注 意

- 本器を専用USBケーブルに接続する際は、取り付ける向きに注意して、右図の向きでは取り付けないでください。
  マイクロホンが専用USBケーブルの反対側を向くようにしてください。
- 本器の充電は5℃～35℃の環境下で行ってください。この温度範囲外で充電を行った場合、充電が停止したり、バッテリが損傷するおそれがあります。



3 充電が完了したら、本器を専用USBケーブルから取り外します。

専用USBケーブルのツメを外側にひろげてから取り外してください。



4 測定方法

1 ワニクリップを使って作業服などに本体を取り付けます。

● マイクロホンが上を向くように取り付けます。

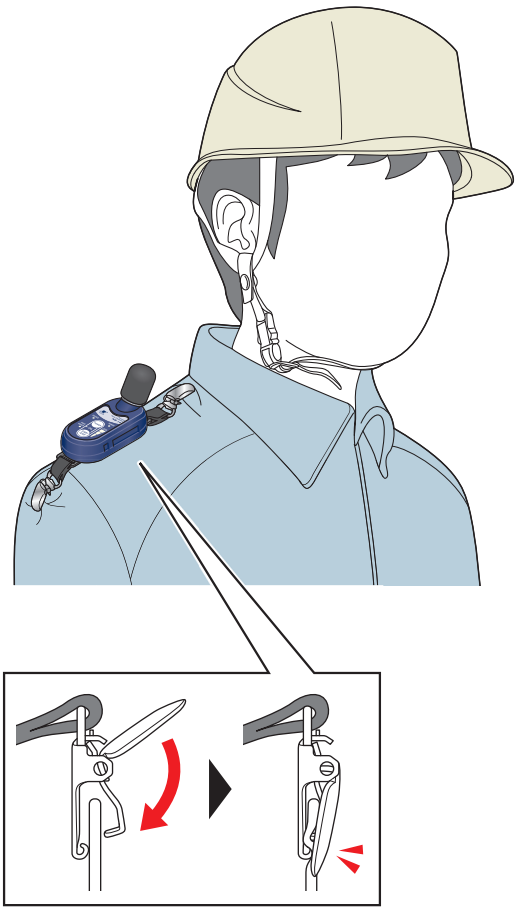
⚠注 意

・取付時にはワニクリップで手、皮膚を挟むなどによる怪我に注意してください。

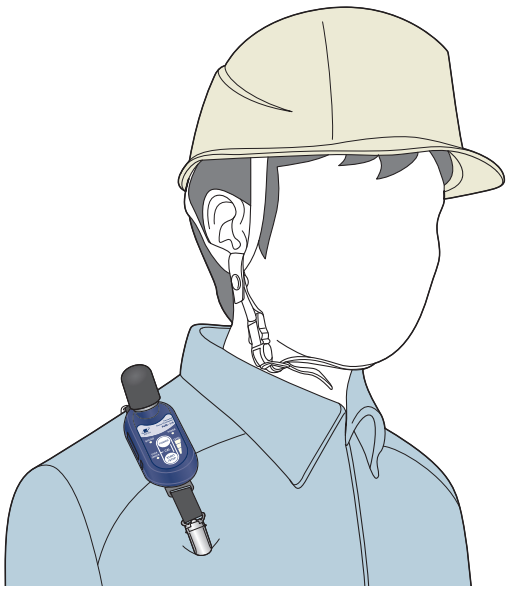
重 要

・容易に落ちないよう、確実に取り付けてください。
・マイクロホン部は防水仕様ではありませんので、水がかかる場所では使用しないでください。

＜横向きに取り付ける場合＞

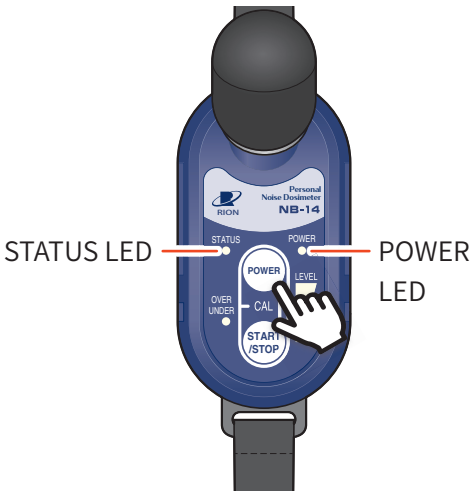


＜縦向きに取り付ける場合＞



2 POWERキーを押して電源をオンにします。

STATUS LEDとPOWER LEDが点灯します。



STATUS LEDの状態

状態		表示
アイドル状態（電源を入れた状態）	エラーなし	緑点灯 STATUS ●
	時計未設定もしくはメモリ残量不足	赤点灯 STATUS ●
校正状態		青点灯 STATUS ●
測定中	測定中	オレンジ点滅 STATUS ●
	OVER履歴あり	赤点滅 STATUS ●

POWER LEDの状態

状態	表示
バッテリ容量が8時間以上	緑点灯 POWER ●
バッテリ容量が8時間以下	オレンジ点灯 POWER ●
バッテリ容量が4時間以下	赤点灯 POWER ●
バッテリ容量の不足	赤点滅 POWER ●

ノート

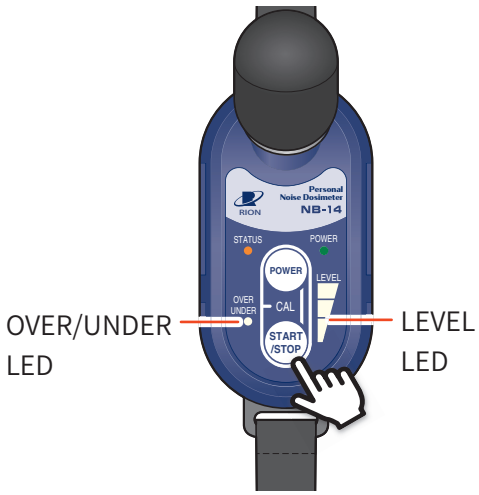
- 測定開始前に、POWER LEDおよびSTATUS LEDが緑点灯であることを確認してください。
- 特に低温下において、バッテリ容量が正しく表示されない場合があります。その場合は十分に充電をしてからお使いください。

3 START/STOPキーを長押しして測定を開始します。

- 測定中はSTATUS LEDがオレンジ色に点滅します。
- 本器1台にストアできるデータは約48時間分です。
- 測定中にPOWERキーを長押しすると、測定を終了して電源がオフになります。

ノート

・測定中にPOWERキーとSTART/STOPキーを長押ししても校正状態にはなりません。ボタンを押し続けた場合、強制的に電源がオフになり測定データが失われるため、測定状態でPOWERキーとSTART/STOPキーの長押しを行わないでください。



- 測定中は、騒音ばく露量の大きさをLEVEL LEDで表示します。

LEVEL LED	無点灯	緑1つ点灯	オレンジ2つ点灯	赤3つ点灯	赤3つ点滅
一日ばく露量/許容量	(50%未満)	(50%以上 100%未満)	100%以上 200%未満	200%以上 400%未満	400%以上

- 測定中に過大信号または過小信号が検知された場合は、OVER/UNDER LEDで表示します。

入力レベル	測定上限より大きい	測定下限より小さい
OVER/UNDER LED	赤点灯 OVER UNDER	緑点灯 OVER UNDER

ノート

・1回の測定中に1 度でもOVERが発生した場合には、STATUS LEDがオレンジ点滅ではなく赤点滅となり、OVERが発生したことを履歴として表示します。
・点滅は測定が終了するまで継続されます。



4 作業が終わったら、START/STOP キーを長押しして測定を終了します。

STATUS LED が緑点灯に変わっていることを確認してください。



重 要

- START/STOP キーを長押しして測定が停止してからデータの保存までに 1分程度かかることがあります。その間は STATUS LED が消灯しているので再び点灯するまで電源オフなどの操作は行わないでください。

5 本体を作業服から取り外し、専用 USB ケーブルに接続します。

6 測定データをコンピュータに取り込みます。

測定データの取り込み方法は「騒音ばく露データ管理ソフトウェア AS-05 Viewer 取扱説明書」をご参照ください。

7 POWER キーを長押しして電源をオフにします。



ノート

- 測定中に POWER キーと START/STOP キーを長押ししても校正状態にはなりません。ボタンを押し続けた場合、強制的に電源がオフになり測定データが失われるため、測定状態で POWER キーと START/STOP キーの長押しを行わないでください。

5 校正方法

本器のマイクロホンを音響校正器（NC-75/NC-74）に挿入して、音響校正および自動調整を行います。

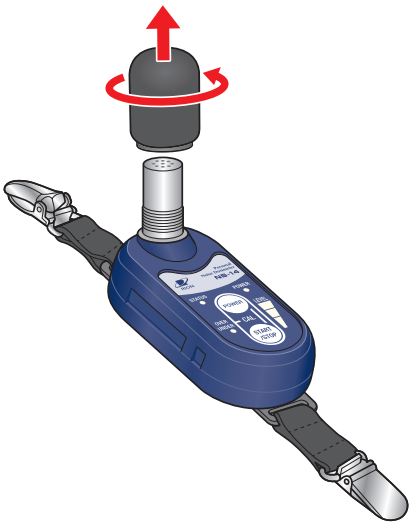
ノート

- 校正は測定前と測定後に必ず実施してください。
- 音響校正器による詳細な校正方法については、音響校正器の取扱説明書を参照してください。
- 音響校正器は、定期的に校正されたものを使用することをお勧めします。
- 音響校正器に対し、本器のマイクロホンを水平に奥まで挿入した状態で音響校正を行ってください。
- 暗騒音が十分小さい状態で校正してください。

1 音響校正器の電源がオフになっていることを確認します。

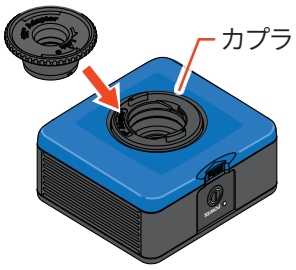
2 専用ウインドスクリーンを本器から外します。

- 専用ウインドスクリーンの先端部ではなく金属部分を掴んで回転させてください。
- ねじ式で固定されているので、反時計回りに回転させて取り外してください。



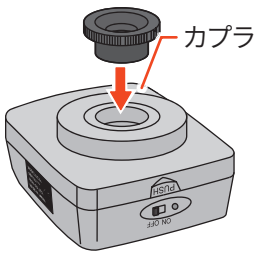
3 音響校正器のカプラに、1/2インチアダプタを取り付けます。

NC-75用
1/2インチアダプタ



音響校正器 NC-75

NC-74用
1/2インチアダプタ



音響校正器 NC-74

4 本器のマイクロホンをカプラの奥に突き当たるまで静かに、ゆっくりと押し込みます。

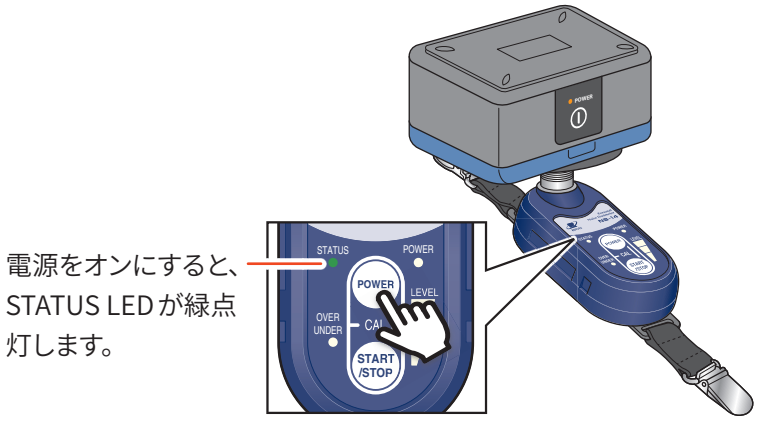
重 要

- 音響校正器は静かに、ゆっくりとマイクロホンに装着してください。
  急激に押し込んだり、引き抜いたりするとカプラ内の気圧が大きく変化し、マイクロホンの振動膜を破損することがあります。
  また、校正器の脱着を行うときは、本器や校正器を回転させないでください。回転させると、マイクロホンが外れて落下する可能性があります。

5 音響校正器の電源をオンにします。

6 本器のPOWERキーを押して電源をオンにします。

電源をオンにするとSTATUS LEDとPOWER LEDが点灯します。



ノート

- 音響校正器と本器の電源をオンにした後、30秒以上待ってから校正を始めてください。

7 POWERキーとSTART/STOPキーを長押しして校正状態に入ります。

＜校正音認識＞

中央のみがオレンジ点灯

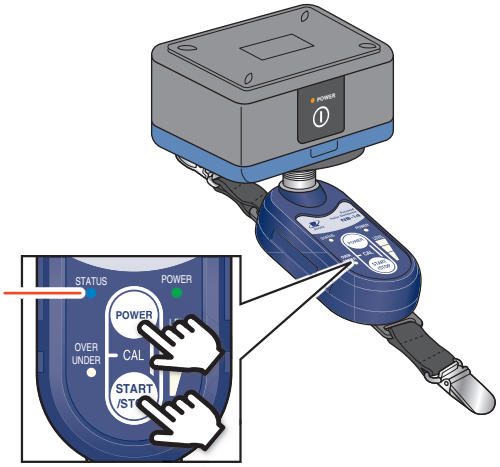


＜校正準備OK＞

中央がオレンジ点灯
上下は緑点灯



校正状態に入ると、
STATUS LEDが
青点灯します。



＜校正不可＞

エラーが発生した場合は、以下のように表示されます。

中央がオレンジ点灯
上下は赤点灯



エラーが発生したら、POWERキーを長押しして通常状態に
戻してから、再度校正を実行してください。

ノート

- 測定中にPOWERキーとSTART/STOPキーを長押ししても校正状態にはなりません。ボタンを押し続けた場合、強制的に電源がオフになり測定データが失われるため、測定状態でPOWERキーとSTART/STOPキーの長押しを行わないでください。
- 校正を再度行ってもエラーが解消されない場合は、販売店もしくは修理・再校正のお問い合わせ窓口へご連絡ください。

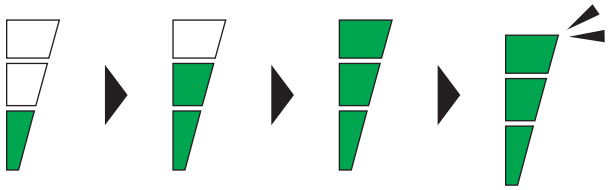
8 もう1度POWERキーとSTART/STOPキーを長押しして校正実行します。

＜校正実行＞

校正中はLEVEL LEDが順次点灯し、校正値を記録します。

- 音響校正後に自動調整が行われます。
- 校正および調整が終了すると、LEVEL LEDが点滅します。

1つ点灯	2つ点灯	3つ点灯	点滅



9 校正は自動的に終了します。

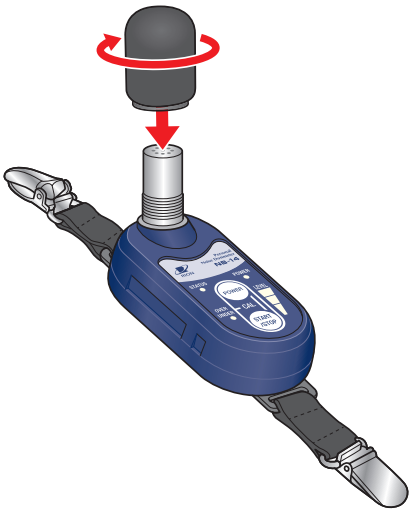
再度校正を行う場合は、もう一度 POWER と START/STOP キーの同時押しが必要です。

10 校正が終了したら、音響校正器と本器の電源をオフにします。

11 カプラからマイクロホンを静かに、ゆっくりと引き抜きます。

12 専用ウインドスクリーンを取り付けます。

専用ウインドスクリーンを最後まで時計回りに回転させて取り付けます。



6 仕様

<table>
<tr><td>適合規格</td><td>IEC 61252:1993+AMD1:2000+AMD2:2017
IEC 61672-1:2013 class 2
JIS C 1509-1:2017 クラス2
VCCI クラスB
CEマーキング
・ EMC指令 2014/30/EU
・ RoHS指令2011/65/EU
UKCAマーキング
中国版RoHS指令</td></tr>
<tr><td>マイクロホン</td><td>UC-52</td></tr>
<tr><td>測定機能
（各演算値を同時に測定）</td><td><table>
<tr><td>A特性時間平均サウンドレベル（等価騒音レベル）</td><td>L_{Aeq}</td></tr>
<tr><td>C特性時間平均サウンドレベル</td><td>L_{Ceq}</td></tr>
<tr><td>C特性ピークサウンドレベル</td><td>L_{Cpeak}</td></tr>
<tr><td>騒音ばく露レベルの許容限度に対する割合</td><td>DOSE</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>測定レベル範囲</td><td><table>
<tr><td>A特性時間平均サウンドレベル（等価騒音レベル）</td><td>58 dB～143 dB</td></tr>
<tr><td>C特性時間平均サウンドレベル</td><td>58 dB～143 dB</td></tr>
<tr><td>C特性ピークサウンドレベル</td><td>75 dB～146 dB</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>自己雑音レベル</td><td><table>
<tr><td>A特性時間平均サウンドレベル（等価騒音レベル）</td><td rowspan="2">代表値 46 dB</td></tr>
<tr><td>C特性時間平均サウンドレベル</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>直線動作全範囲
（A 特性、1 kHz）</td><td>58 dB ～ 143 dB</td></tr>
<tr><td>直線動作範囲</td><td>85 dB</td></tr>
<tr><td>測定周波数範囲</td><td>20 Hz～8 kHz</td></tr>
<tr><td>基準周波数</td><td>1 kHz</td></tr>
<tr><td>基準音圧レベル</td><td>94 dB</td></tr>
<tr><td>周波数重み付け特性</td><td>デジタル演算方式 A特性、C特性</td></tr>
<tr><td>実効値検出回路</td><td>デジタル演算方式</td></tr>
<tr><td>表示</td><td>電源状態、測定状態、過負荷／アンダーレンジ、
バーグラフ（騒音ばく露レベルの許容限度に対する割合 DOSE）</td></tr>
<tr><td>サンプリング周期</td><td>20.8 μs（サンプリング周波数 48 kHz）</td></tr>
<tr><td>ストア周期</td><td>1秒</td></tr>
<tr><td>校正</td><td>以下の音響校正器により、音響校正および自動調整を行う
● NC-75、NC-74<table>
<tr><td>校正信号周波数</td><td>1 kHz</td></tr>
<tr><td>校正信号レベル</td><td>93.9 dB</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>内蔵メモリ</td><td>約48時間分の測定データを保持</td></tr>
<tr><td>USB</td><td><table>
<tr><td>通信制御</td><td>通信コマンドによる測定値の取得および設定変更が可能</td></tr>
<tr><td>データ転送</td><td>コンピュータにSDカードをリムーバブルディスクとして認識させてデータを転送することが可能</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>電源</td><td>内蔵リチウムイオン充電池（二次電池）
充電には、別途充電器（市販品）が必要（充電に必要な電圧・電流：5 V、185 mA）
連続動作時間　：フル充電状態から12時間以上（使用温度範囲において）
充電に必要な電流値は次のとおり（電源電圧：5 V）
電源ON時　　：185 mA（代表値）
電源OFF時　　：141 mA（代表値）</td></tr>
<tr><td>使用温湿度範囲</td><td>温度　　：-10°C ～ 50°C
湿度　　：10% ～ 90% RH（結露のないこと）
充電温度範囲　：5°C ～ 35°C</td></tr>
<tr><td>大きさ・質量</td><td>85 mm（H）× 43 mm（W）× 22 mm（D）・約72 g（本体部のみ、取り付け具は除く）</td></tr>
<tr><td>防塵防水性能</td><td>IP54（マイクロホン部を除く）</td></tr>
<tr><td>付属品</td><td>専用USBケーブル　×1
専用ウインドスクリーン　×1
ワニクリップ用ホルダ（本体に取り付け済み）×1
取扱説明書（導入編）　×1
専用ウインドスクリーン取り外し時の注意　×1
中国RoHS対応文書　×1
内容品明細表 兼 リオン製品保証書　×1</td></tr>
<tr><td>別売品</td><td>音響校正器 NC-75
専用USBケーブル
専用ウインドスクリーン
ワニクリップ用ホルダ</td></tr>
</table>

商標について

●QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
●その他、本書中の会社名、商品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。

リオン株式会社
https://www.rion.co.jp/

本社／営業部
〒185-8533　東京都国分寺市東元町3丁目20番41号
TEL (042) 359-7887(代表)　FAX (042) 359-7458

修理・再校正のお問い合わせ窓口
〒192-0918　東京都八王子市兵衛2丁目22番2号
TEL (042) 359-7898　FAX (042) 359-7458

西日本営業所
〒530-0001　大阪市北区梅田2丁目5番5号 横山ビル6F
TEL (06) 6346-3671　FAX (06) 6346-3673

東海営業所
〒460-0002　名古屋市中区丸の内2丁目3番23号 和波ビル
TEL (052) 232-0470　FAX (052) 232-0458

九州リオン(株)
〒812-0039　福岡市博多区冷泉町5番18号
TEL (092) 281-5366　FAX (092) 291-2847

No. 66721　24-01